

# 猪名川町木津における治山事業について

## 1 災害の概要について

- (1) 災害状況 : 平成 30 年 7 月豪雨により山腹斜面が崩壊（幅 7m、長さ 40m）し、崩壊土砂により楊津小学校体育館の一部を破損した。人的被害は無かった。
- (2) 災害箇所 : 猪名川町木津字西山（保安林：土砂崩壊防備 指定中）
- (3) 気象状況 : 累加雨量 537mm（7 月 4 日 7:00～7 月 8 日 7:00）  
 最大 24 時間雨量 310mm（7 月 5 日 3:00～7 月 6 日 2:00）  
 最大時間雨量 29mm（7 月 5 日 11:00～12:00）  
 ※観測地点 猪名川町楊津
- (4) 災害発生 : 山腹崩壊は平成 30 年 7 月 5 日 21:45 頃発生



山腹崩壊の状況



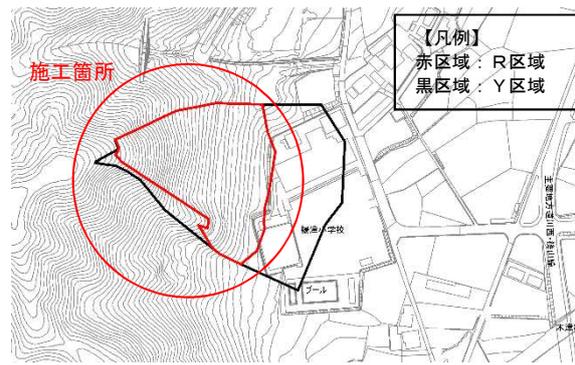
被災した体育館の状況

## 2 土砂災害にかかる危険区域の指定状況について

- (1) 山地災害危険地区【治山所管】  
 山腹崩壊危険地区 301-008(A ランク)
- (2) 土砂災害警戒区域【土木所管】  
 木津(2) I 土砂災害警戒区域【Y区域(H21.9.1 告示第 967 号 指定)】  
 土砂災害特別警戒区域【R区域(H30.2.27 告示第 163 号 指定)】

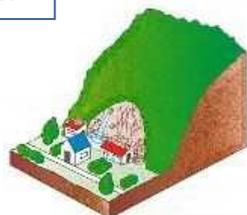


兵庫県CGハザードマップ(木津)



土砂災害警戒区域図(木津)

### 山地災害危険地区



山腹崩壊危険地区

### 山腹崩壊危険地区

山腹の崩壊や落石により、災害が発生する恐れがある山腹斜面を設定  
 《特徴》

- ・山の斜面に亀裂や湧き水がある
- ・岩石がもろく崩れやすい地質である
- ・過去に山崩れがあった
- ・山崩れがあった場所となり合っている
- ・急斜面で軟弱な地盤がある
- ・水の集まりやすい斜面地形である
- ・ときどき落石がる

(注) 山地災害危険地区は、災害の発生形態等により「山腹崩壊危険地区」、「崩壊土砂流出危険地区」、「地すべり危険地区」の3種類に区分される

### 3 山腹斜面の復旧対策について

#### (1) 全体計画

- ①事業名 : 復旧治山事業 (国庫 1/2) ほか
- ②工事箇所 : 猪名川町木津字西山 12-4 ほか
- ③計画期間 : 令和元年～令和 5 年度 (5 年間)
- ④全体事業費 : 669,301 千円
- ⑤工事内容 : 法枠工 (F300) A=4,111m<sup>2</sup>、鉄筋挿入工 (L=3.0m) N=1,184 本  
地山補強土工 (ロープネット・ロックボルト (RR) 併用法) A=7,793m<sup>2</sup>  
落石防護柵工 (エネルギー吸収型 H=3.0m) L=113m  
その他山腹工 (カゴ枠工、緑化工等) 1 式

#### ⑥年度別計画

工種		年度別内訳				計
		R元+R元補正	R2補正	R4	R5	
法枠工	F300、200	2,326 m <sup>2</sup>	1,785 m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	4,111 m <sup>2</sup>
鉄筋挿入工	D19、L=3.0m	685 本	499 本	本	本	1,184 本
地山補強土工	RR併用法	m <sup>2</sup>	951 m <sup>2</sup>	3,043 m <sup>2</sup>	3,799 m <sup>2</sup>	7,793 m <sup>2</sup>
落石防護柵工	鋼製 H=3.0m	m	m	m	113 m	113 m
その他山腹工	カゴ枠工等	1 式	1 式	1 式	1 式	1 式
仮設工	モルタル等	1 式	1 式	1 式	1 式	1 式
事業費 (千円)		157,866 千円	171,777 千円	130,658 千円	209,000 千円	669,301 千円

(注) 計画内容は状況等により変更することがあります。



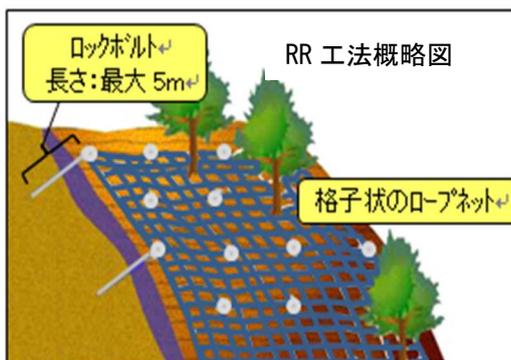
全体計画区域と保全対象 (R5. 1.16 ドローン空撮)



令和元年度施工法枠工



落石防護柵工 (イメージ)



RR 工法概略図

#### 対策工の特徴

- ・土塊の落下を予防
- ・環境・景観に配慮
- ・コスト縮減

#### 対策工設計法の特徴

- ・簡易貫入試験を主体とした調査
- ・地震時の斜面破壊の程度を予測



令和 4 年度施工 RR 工法